

平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年7月28日

上場会社名 養命酒製造株式会社 上場取引所 東名
 コード番号 2540 URL <http://www.yomeishu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩澤 太朗
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 斉藤 隆 (TEL) 03-3462-8138
 四半期報告書提出予定日 平成29年7月31日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	2,662	△4.1	304	△15.5	460	△10.3	321	△12.5
29年3月期第1四半期	2,776	△4.4	361	△4.0	513	△1.6	367	0.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	23.41	—
29年3月期第1四半期	26.80	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	44,264	39,004	88.1
29年3月期	44,551	38,790	87.1

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 39,004百万円 29年3月期 38,790百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	40.00	40.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,840	3.8	360	△30.7	520	△25.0	360	△26.9	26.25
通期	12,440	1.3	1,160	△30.0	1,440	△26.7	1,000	△26.9	72.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	16,500,000株	29年3月期	16,500,000株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	2,778,077株	29年3月期	2,792,331株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	13,714,696株	29年3月期1Q	13,699,582株

(注) 当社は「役員報酬BIP信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式は、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)におけるわが国経済は、雇用・所得環境に改善が見られ、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、個人消費の回復は依然として鈍く、新興国等の海外景気の減速に対する懸念や、地政学リスクの高まり等、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社の関連業界におきましても、生活防衛意識や節約志向、業種業態を越えた企業間競争の激化が続き、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、中期経営計画(平成27年4月から平成30年3月まで)において「ポジティブエイジングケアカンパニーとして、健やかに、美しく、歳を重ねることに貢献する」という事業ビジョンに基づき、「持続的成長に向けた新規事業領域の確立」を基本方針として「新規事業領域の成長基盤の構築」「薬用養命酒の収益体質の維持」「生活者視点に立った事業活動を基盤としたCSR経営の推進」の各施策に取り組んでおります。

当第1四半期累計期間の業績は、「養命酒」の売上が前年同四半期を下回り、「その他商品・サービス」の売上は前年同四半期を上回ったものの、売上高は2,662百万円(前年同四半期比4.1%減)となりました。利益面につきましては、営業利益は304百万円(前年同四半期比15.5%減)、経常利益は460百万円(前年同四半期比10.3%減)、四半期純利益は321百万円(前年同四半期比12.5%減)となりました。

セグメント別には以下のとおりです。

① 養命酒関連事業

養命酒関連事業の売上高は2,587百万円(前年同四半期比4.3%減)となりました。

<養命酒>

国内における「養命酒」につきましては、6月の改正酒税法の施行に伴い店頭における販売価格が上昇したことが影響し売上が減少しました。一方で、商品価値の向上とお客様の利便性向上のため、「養命酒」の瓶口に液だれ防止のための「中栓」を装着するなど、商品パッケージのリニューアルを実施しました。また、新規顧客の獲得と継続飲用者を維持するため、6月中旬から新しい広告キャラクターを起用し、「気づくって、いいね。」を訴求テーマとしたテレビスポット広告や交通広告等を実施し、それと連動した店頭における販売促進活動を強化しています。国内における「養命酒」の売上高は、2,005百万円(前年同四半期比11.5%減)となりました。

海外における「養命酒」につきましては、商品理解の促進と購買意欲の向上を目指し、主要輸出先(台湾・香港・マレーシア・シンガポール)の市場環境に即した販売促進活動を実施しました。売上高につきましては、商品パッケージのリニューアルに伴い香港への輸出がなかったため、25百万円(前年同四半期比55.6%減)となりました。

以上の結果、「養命酒」全体の売上高は2,030百万円(前年同四半期比12.5%減)となりました。

<その他商品・サービス>

「酒類」につきましては、「フルーツとハーブのお酒」等のコンビニエンスストアへの販路拡大や新商品「はちみつのお酒」の投入を行いました。また、「健康のお酒」シリーズとして「ハーブの恵み」「琥珀生姜酒」「高麗人参酒」の営業活動を強化しました。酒類全体では、美容と健康を訴求した売場提案や販促物による店頭露出の拡大、ウェブ広告やキャンペーン等を実施し、売上高は235百万円(前年同四半期比72.2%増)となりました。

「エイジングケア商品」につきましては、「食べる前のうるる酢ビューティー」に加えて、新商品「生姜黒酢」「高麗人参黒酢」の投入や「グミ×サプリ」の商品リニューアルを実施しました。また、郵便局でのカタログ販売、保険薬局での「養命酒製造の黒酢」の販売も寄与し、売上高は172百万円(前年同四半期比74.5%増)となりました。

「くらすわ・養命酒健康の森」につきましては、ショップと通信販売の売上が堅調となり、「養命酒健康の森」の売上を合算し、売上高は134百万円(前年同四半期比4.5%増)となりました。

以上の結果、「酒類」「エイジングケア商品」「くらすわ・養命酒健康の森」にその他の売上を合算し、「その他商品・サービス」全体の売上高は557百万円(前年同四半期比45.4%増)となりました。

② その他

鶴ヶ島太陽光発電所と不動産賃貸の売上を合算し、売上高は74百万円(前年同四半期比4.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ286百万円減少し、44,264百万円となりました。これは主に投資有価証券及び関係会社株式に含まれる保有株式が時価評価の増加等により602百万円増加した一方で、債券の償還により有価証券が900百万円減少したことによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ501百万円減少し、5,259百万円となりました。これは主に流動負債のその他に含まれる未払金が199百万円、未払費用が367百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ214百万円増加し、39,004百万円となりました。これは主に四半期純利益321百万円の計上及び配当金550百万円の支払により利益剰余金が229百万円減少した一方で、その他有価証券評価差額金が429百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期決算短信(平成29年5月10日公表)において発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,938,118	3,810,644
売掛金	2,573,554	2,285,466
有価証券	2,700,091	1,800,066
商品及び製品	553,590	601,170
仕掛品	164,568	148,940
原材料及び貯蔵品	941,122	1,044,648
その他	162,748	314,188
流動資産合計	11,033,794	10,005,123
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,300,067	3,341,690
その他(純額)	3,000,645	3,108,963
有形固定資産合計	6,300,713	6,450,654
無形固定資産		
	362,720	344,280
投資その他の資産		
投資有価証券	17,804,192	18,555,931
長期預金	5,600,000	5,600,000
その他	3,455,173	3,313,846
貸倒引当金	△5,074	△5,074
投資その他の資産合計	26,854,291	27,464,703
固定資産合計	33,517,724	34,259,638
資産合計	44,551,518	44,264,762
負債の部		
流動負債		
買掛金	364,723	303,867
未払法人税等	137,854	118,844
賞与引当金	211,067	107,447
その他	1,600,641	1,042,165
流動負債合計	2,314,286	1,572,323
固定負債		
役員退職慰労引当金	48,350	48,350
その他	3,398,607	3,639,319
固定負債合計	3,446,957	3,687,669
負債合計	5,761,244	5,259,993

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,650,000	1,650,000
資本剰余金	690,705	690,705
利益剰余金	36,415,386	36,186,079
自己株式	△5,002,579	△4,987,658
株主資本合計	33,753,511	33,539,125
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,036,470	5,465,590
繰延ヘッジ損益	292	53
評価・換算差額等合計	5,036,762	5,465,643
純資産合計	38,790,274	39,004,769
負債純資産合計	44,551,518	44,264,762

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	2,776,194	2,662,194
売上原価	945,723	968,772
売上総利益	1,830,471	1,693,422
販売費及び一般管理費	1,469,332	1,388,431
営業利益	361,139	304,991
営業外収益		
受取利息	9,021	9,626
受取配当金	140,925	140,894
その他	7,789	9,840
営業外収益合計	157,737	160,361
営業外費用		
支払利息	4,260	4,430
その他	1,409	639
営業外費用合計	5,670	5,069
経常利益	513,205	460,282
特別損失		
固定資産除却損	1,115	11,642
特別損失合計	1,115	11,642
税引前四半期純利益	512,090	448,640
法人税、住民税及び事業税	133,000	129,000
法人税等調整額	11,974	△1,441
法人税等合計	144,974	127,558
四半期純利益	367,115	321,081

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。